脳梗塞超急性期治療において機械的血栓回収療法を施行した患者の臨床経過に関する検討

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

【本調査研究の目的】
本研究では、脳梗塞超急性期治療において機械的血栓回収療法を施行した患者に関する病型や臨床経過等について包括的に検討し、脳梗塞患者の予後改善を目指すことを目的とします。

【対象】
当院で急性期脳梗塞に対して機械的血栓回収療法を受けた患者さん

【情報の利用目的及び利用方法】
対象患者さんのデータを後ろ向きに収集し、実態調査や解析を行います。個人情報については加工し、対象者を識別できないようにします。

【調査項目】
基本情報（年齢、性別、身長、体重、内服薬、生活歴、家族歴、嗜好品）、既往歴、併存症、身体所見や神経学的所見、血液尿検査、画像検査（CT、MRI、脳血管造影検査）、生理機能検査（心電図モニターを含む）、使用機器の情報、入院後に使用した治療薬、臨床経過、重症度、日常生活自立度、転帰

なお、必要な情報のみを統計資料として集計しますので、患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんので、ご安心ください。

【調査対象期間】
2018 年 1 月 1 日　～　2024 年 10 月 31 日

【利用する者の範囲】
脳神経内科　寺崎泰和、古田充、西川徹、北村慧介、中嶋拳也

【試料・情報の管理について責任を有する者】
脳神経内科　寺崎泰和

【研究期間】
実施許可日から　2026 年 3 月 31 日（調査状況により調査期間を延長する可能性があります）

【当院の研究責任者】
寺崎泰和
関西労災病院　脳神経内科
〒660-8511　兵庫県尼崎市稲葉荘 3-1-69
TEL：06-6416-1221（代表）
FAX：06-6419-1870（代表）
E-mail：terasaki-yasukazu@kansaih.johas.go.jp